

## 卷末資料（算出方法・参考データ）

① 将来の医療需要推計の算出方法

将来推計人口に山口県の男女別年齢階層別の入院受療率を乗じて、診療圏内における将来の医療需要を推計した。山口県における入院・外来の受療率は以下の通りである。

(ア) 入院受療率

入院受療率（人口10万人平均の入院患者数）については、厚生労働省が3年ごとに全国の医療施設を対象に行う「平成29年患者調査」の山口県の受療率とした。

図表 山口県における傷病別入院受療率

(単位 人/日)

傷病分類	～14歳	15～64歳	65歳以上	全人口	傷病分類	～14歳	15～64歳	65歳以上	全人口
感染症及び寄生虫症	8	49	47	22	消化器系の疾患	6	122	160	68
新生物	15	296	364	158	皮膚及び皮下組織の疾患	0	8	37	13
血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	9	10	23	10	筋骨格系及び結合組織の疾患	28	119	215	87
内分泌、栄養及び代謝疾患	10	63	118	48	腎尿路生殖器系の疾患	8	58	171	64
精神及び行動の障害	6	1041	543	307	妊娠、分娩及び産じょく	0	117	-	12
神経系の疾患	28	257	586	227	周産期に発生した病態	133	0	-	5
眼及び付属器の疾患	0	4	23	8	先天奇形、変形及び染色体異常	53	9	0	4
耳及び乳様突起の疾患	0	8	5	3	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3	19	53	20
循環器系の疾患	2	243	882	325	損傷、中毒及びその他の外因の影響	37	209	510	196
呼吸器系の疾患	104	70	315	118	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9	66	15	12

厚生労働省「平成29年患者調査」参照

(イ) 外来受療率

入院受療率と同様に、外来受療率（人口10万人平均の外来患者数）においても、厚生労働省「平成29年患者調査」の山口県の受療率とした。

図表 山口県における傷病別外来受療率

(単位 人/日)

傷病分類	～14歳	15～64歳	65歳以上	全人口	傷病分類	～14歳	15～64歳	65歳以上	全人口
感染症及び寄生虫症	553	531	184	149	消化器系の疾患	384	4015	1460	981
新生物	5	534	371	189	皮膚及び皮下組織の疾患	1017	1359	361	316
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21	98	26	20	筋骨格系及び結合組織の疾患	57	1698	2467	1037
内分泌、栄養及び代謝疾患	20	977	787	384	腎尿路生殖器系の疾患	54	1206	543	325
精神及び行動の障害	404	1684	216	287	妊娠、分娩及び産じょく	0	216	-	20
神経系の疾患	52	351	290	141	周産期に発生した病態	10	0	-	0
眼及び付属器の疾患	347	783	769	369	先天奇形、変形及び染色体異常	166	18	6	11
耳及び乳様突起の疾患	567	332	134	110	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	84	218	96	62
循環器系の疾患	5	1252	2149	874	損傷、中毒及びその他の外因の影響	409	1129	311	255
呼吸器系の疾患	4105	1776	336	511	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1431	1931	752	534

厚生労働省「平成29年患者調査」参照

② 「将来の病床数の必要量（必要病床数）」の推計方法

必要病床数の推計は、厚生労働省から提供された基礎データ（2013年度のレセプトデータ等から作成）を基に、医療法施行規則及び「地域医療構想策定ガイドライン」（厚生労働省通知）で定められた計算方法により算出することとされている。

③ 当センター診療圏における人口動態

患者数の推計にあたって、まずは診療圏内の人口動態の推計を行った。人口動態の推計方法として、診療圏（防府市、山口市、周南市）の各市区町村ホームページの人口情報（2020年5月末時点）と2018年度の「日本の地域別将来人口推計（人口問題研究所）」の推計値を使用した。

④ 周辺医療機関における患者受療状況

平成30年度DPC導入の影響評価に関する調査「MDC別医療機関別件数（割合）」より、山口・防府医療圏内におけるDPC対象医療機関ごとの主要診断群MDC別退院患者数の傾向を確認した。